



市民公開講座のご報告

ばりばり現役プロジェクト

がんと心臓病からあなたと家族を守る！

第29回市民公開講座（平成29年2月26日） 名張市武道交流館いきいき 参加者 169名

平成29年2月27日に名張市武道交流館いきいきにおいて、第29回市民公開講座「がんと心臓病からあなたと家族を守る」を開催いたしました。心臓マッサージ講習会には57名の方にご参加いただき、目の前で倒れた人を助けるための心肺蘇生の講習、自動体外式除細動器(AED)の体験をしていただきました。講習会には169名の方にご参加いただきました。三重大学医学部附属病院中央検査部の杉本和史先生から、「増加している大腸がん ー大腸がんから命を守るためにー」の演題名で講演して頂きました。大腸がんは早期に治療できれば5年生存率が高く、早期発見のために検診を受けることが重要であることについてお話しいただきました。三重大学医学部附属病院肝胆膵・移植外科の伊佐地秀司先生から、「難治がん膵がんへの挑戦 ー三重大学病院の取り組みー」の演題名で講演して頂きました。膵がんは症状が認められた時にはすでに進行がんに至っていることが多く、5年生存率が非常に低いがんであること、三重大学病院での膵がんに対する取り組みについてお話しいただきました。Q & A コーナーでは、大腸がんとアルコールとの関係、膵がんの治療方法、その後のサポートに関するご質問をいただき、杉本先生、伊佐地先生にご回答いただきました。

休憩時に、国津元気隊メンバーから、「生活習慣病のうた」体操が披露され、会場の参加者全員で体操を行いました。

引き続き、三重大学医学部附属病院循環器内科の藤井英太郎より、「突然襲う心臓発作 ー不整脈から命を、脳を、生活を守るー」の演題名で講演させて頂きました。洞機能不全症候群等の徐脈性不整脈に対するペースメーカー植え込み術により生活を守る、心房細動による心原性脳塞栓症(脳梗塞)から脳を守る、心臓突然死を引き起こす心室細動に対する植え込み型除細動器植え込み術により命を守ることにしてお話させていただきました。Q & A コーナーでは、不整脈で心配な症状と大丈夫な症状の区別について、不整脈は一生付き合いなければならないものかどうかとのご質問をいただき、回答させていただきました。今回本講座に参加された市民の方々やそのご家族の検診受診率が向上し、健康と長寿に少しでも寄与できる機会になれば幸いです。



三重大学医学部附属病院循環器内科 藤井英太郎



心臓マッサージ講習会



AED 体験



血圧測定コーナー



食生活改善推進員による
減塩・バランス試食



休憩 「生活習慣病のうた」体操



Q&A コーナー